

千葉県森林インストラクター会

会報 2002.6(No. 1)

特集：平成 14 年度総会 第 8 回年次総会が 開催されました。

平成 14 年 4 月 27 日(土)午後 1 時 30 分～ 4 時、市川市市民会館で第 8 回千葉県森林インストラクター会年次総会が開催された。出席者は 32 名。平成 13 年度事業報告・決算報告の審議に続いて、平成 14 年度事業計画が熱心に検討された。さらに新年年度の役員を選出。今年度の事業計画をスタートすることになった。

役割の重要性を認識した審議を！

総会は町原亨会長のあいさつからはじまった。あいさつの骨子は次の通り。
「言うまでもないことだが、森林インストラクターには重要な役割がある。一般市民や児童を森の現場に連れていき、あるいは座学などを通じて森のしくみや働きを紹介。森に興味を持ってもらい、好きになってもらう。こうして美しい森をつくり(回復)、維持していこうという世論を巻き起こしていくことである。森林の状況が悪くなってしまっている現状を考えると、大変重要な役割を担っているといえる。森林経営の理想は、森の木が生長した分だけ販売して、それが経費や育林費、林業家の生計費を賄うという『循環サイクル』ができること。安い外材に圧迫されている現在では、国産材の愛用や森林への公費投入なども考える必要がある。いずれにしても、我々の役割の重要性を認識して、審議をしてもらいたい」



竹内議長・秋山書記で審議開始。

審議にあたって事務局の推薦もあり竹内進さん(市原市)が議長に選出された。さらに、議長の指名により秋山進さん(横浜市)が書記に就任。会員総数 51 名に対して、出席 26 名、委任状 6 通で、総会成立を確認したうえで、審議がはじまった。

議案は、次の 6 号の議案である。

平成 13 年度事業報告

平成 13 年度決算報告

会計監査報告

平成 14 年度事業計画(案)

平成 14 年度会計予算(案)

平成 14 年度役員選出(案)

まず、の 3 つの議案を一括審議した。事務局長の菅野興文さんが 1 号議案と 2 号議案を説明、会計監査の大竹秀さんが、会計監査報告。資料の一部修正のうえで承認された。

続いての 2 つの議案が審議された。町原会長が事業計画案(表参照)を説明。続いて菅野事務局長が予算案の説明を行った。さらに、野間元彦さんが「上総試験地作業」、國安哲郎さんが「総合学習事業」、望月力智さんが「清

和県民の森」について詳細に補足説明した。いくつかの質疑があったが、こうして今年度の事業計画と予算が承認された。

平成 14 年度役員が決定。

6 つ目の議案は平成 14 年度の役員選出である。平成 13 年度役員から石井桃子幹事と大竹秀監事が退任。新たに野間元彦幹事、村木隆義監事が就任することになった。

平成 14 年度役員

役職	氏名	主な担当
会長	町原 亨	総括
副会長	國安 哲郎	総合学習
幹事	菅野 興文	事務局
	寺嶋 嘉春	もりこん
	望月 力智	野外活動
	遠坂 弘	昼講座
	野間 元彦	上総試験地作業
	関根 亨	助成事業
	海野 知子	もりこん事務局
監事	村野 隆義	

こうして予定された議題の審議が終了。『平成 14 年度助成事業』について検討した。

平成 12 年度から 13 年度にかけて、(財)国土緑化推進機構の「緑と水の森林基金」に応募して、『森林インストラクターによる森に親しむ講座』として、年間 30 万円の助成を受けていた。こうした経緯を踏まえて関根亨さんが、平成 14 年度の取り組みについて提案した。活発な意見交換の後に、関根さんに提案をベースに若干の修正を加えたうえで、国土緑化推進機構に助成申請をすることに決定した。

さらに町原会長から、「会報」を出す準備をしたいとの提案があり、秋山進と鳥海翔がその準備にあたることになった。

4 時 20 分。すべての審議を終えて、総会は終了した。

懇親会でも活発に意見交換。

総会終了後、市川市の『濱一』で、懇親会が行われた。参加者は 25 名。グラスを傾けながらも活発な意見交換が行われた。その余韻が醒めなかったのか、その後 2 次会に繰り出して行った人も多数? 見受けられた。



懇親会風景

役員からのひとことメッセージ

町原 亨さん(会長)

当会の発足以来の懸案であった、「会報」の発行が、今日実現されました事を、心からお慶び申し上げますと共に、担当の方の熱意と御努力に深い敬意を表したいと存じます。

これ迄は、自分が参加している部門の行事は判っていても、他は不詳と言った状況になり勝ちでしたが、今後は誰もが会全体の動向を知る事で、会の存在価値が更に高められると確信しています。

特に、長年年会費を納入されながら、現職の都合で会の行事に参加し難い方には、この会報を定期的にお届けする事で、会に親しみを保って頂き、暇が出来ればすぐ参加して見ようと言う気になる事を期待しています。

尚、この会報の発行を継続していく為には担当の方の御尽力は勿論ですが、情報の提供その他皆様の協力が重大要件です。宜しく願い申し上げます。

國安 哲郎さん(副会長 総合学習)

千葉県会の性格は、どちらかというとカタチより実をとる会と思いますが、発足から 7 年を過ぎ、メーリングリストの立ち上げや会報の発行に漕ぎつけ、いよいよ実力がついてきたなと実感しています。

この会の良さは、みんなで話し合い、助け合い、励まし合い、磨き合うところです。

それらのことに少しでもお役にたてたら幸せです。どうぞよろしく願いいたします。

平成 14 年度事業計画

1. 野外講座

日程	目的地		参加数	担当者
5/15	筑波山	冷温帯の森林	33	村木・町原ほか3名
7/17~18	滋賀高原	冷温帯の森林	33	湯本・菅野ほか3名
9/29	笠森寺とその周辺	暖帯極相林	42	大沼・寺嶋ほか4名
11/27	内浦山県民の森	野生動物と森林	42	望月・萩埜・御須ほか3名
1/15	東大・堂沢～麻綿原	房総丘陵の森林	42	横山・遠坂ほか4名
2/25	東大・浅間山	原生林と高齢林	42	國安・山田ほか4名

2. 昼の講座（前期）

日程	内容	担当者
4/10	房総半島の森林ウォッチング	遠坂
4/24	県立中央博物館を訪ねる	石井
5/8	森の見方	伊藤敏
5/22	明治神宮の森を訪ねる	遠坂
6/12	里山・水辺の植物	山田
6/26	21世紀の森を訪ねる	山田
7/10	歴史から見た日本の森林 part 3	町原

※ 後期は6～7回予定

3. 森林に親しむ懇談会：年12回開催

森に関心のある一般市民との交流を兼ねた研鑽会

4. 県上総試験地作業

林業の基本知識と技術の習得

5. 総合学習事業

本埜村滝野中学校 里山活用の総合学科

6. 東京大学千葉演習林事業

今秋、会員研修を兼ねた収益事業を計画

7. 清和県民の森

会員のフィールドとして確立するための取り組みを開始する

8. 研修事業

トピックへの対応、救急法の再履修、環境問題との関わり方

9. 受託事業

10. その他

望月 力智さん(野外活動)

森に親しむ野外講座担当の、望月力智です。当講座では、県内の森林を中心に、県外の森林も交えながら、植物観察を中心とした森林の観察を行ってきました。昨年、一昨年と森林管理体験を入れたり、本年度はネイチャーゲームを取り入れた講座も計画しております。会員の皆様のご協力をいただきながら、よりバラエティに富んだ内容にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

野間 元彦(上総試験作業)

よろず山仕事を承りますので、よろしくお願いいたします。

遠坂 弘さん(昼講座)

森に親しむ「夜の講座」(もりこんの前身)・「野外講座」に続き1997年に発足した「昼の講座」も2001年度までの5年間に41回の講座実績を積み重ね、6年目もすでに4回の講座を実施しました。開設時から2年間担当幹事を務めて石井さんにバトンタッチしましたがこの度石井さんにご都合が出来ての再登板です。皆様のご協力をお願い致します。石井さん長い間のお役目お疲れさまでした。今後とも変らぬお力添えをお願いいたします。

寺嶋嘉春さん(もりこん)

これまでの活動フィールドは、千葉県内各地・群馬県玉原高原・宮城県鳴子町・岩手県山形村・滝沢村・早坂峠・埼玉県狭山丘陵・荒川上流などです。以上の地域は、ご要望があればご案内させていただきます。房総の森林の味わい深さを最近特に実感し、年を経ることによりはじめて見つけられる森の楽しさがあることに気がつき始めました。引き続き、皆様への情報提供を実践していきたいと思っております。

村木 隆義さん(監事)

総会でお聞きすると、現状、本部・各講座では、それぞれの方法で会計事務を行なっているようです。会員も50名を超え、今後、活動もより活発化すれば、比例して事務量も増大し、その負担をいつまでも同一人に求めるのではないのでしょうか。そこでこの1年を使って、それぞれの処理方法をお聞きし、より分かりやすく単純化・統一化し、例えば幹事等が新人になって

も、事務の方は、問題なく処理されていく形にできないかどうか、素人なりに考えてみたいと思います。関係者各位のご協力を切にお願いいたします。

活動報告

総合学習事業(國安)

・里山学習林を活用した本埜村立滝野中学校の総合学習

4/10 野間、湯本、國安 3年A・B組 56名

4/11 野間、湯本、國安、遠坂 2年A・B組 67名

4/17 野間、湯本、國安、遠坂 1年A・B組 64名

内容としては、3年生の不登校児がこの学習に参加したこと、ノウタケに触れたプロポヨ感、素朴な篠(竹)笛を作って吹くときの楽しさなど、確かな手応え。(詳細別途)

今回学習の最終下見打ち合わせを3月31日に、各月1回の里山学習林整備・観察は5月31日(金)に実施。

野外活動(望月)

・4月~5月の活動報告

5月15日(水):初夏の筑波山

チーフインストラクター:村木・町原

参加者 32名

昼講座(遠坂)

4~5月活動報告(日時は報告メール送信日)

「房総半島の森林ウォッチング」4月10日送信

「中央博生態園を訪ねる」4月25日送信

「森の見方」5月9日送信

5月22日「明治神宮の森を訪ねる」

参加者 35名

チーフ講師 遠坂

サブ講師 石井・海野・山田・渋谷・和波

オブザーブ 湯本・高橋・鈴木

・連絡事項の徹底に続き配布資料を参考に植栽前の状況、植栽方針、森の変遷、現在の姿、神宮の森の植生、神宮の森のこれからなどについて説明し、まず参加者との情報(知識)の共有化を図りました。それから3班に分かれて南参道の樹林、神橋付近、南参道と北参道の合流点、正参道、社殿周辺、北参道の樹林、宝物殿付近の樹林、西参道樹林周囲森林帯の9ポイントを中心に森林観察を実施しました。(詳細については添付の配布資料を参照して下さい。)

終了後の参加者の感想として「何度も来ているがこれまでと違う森の見方ができてよかった」「自然林と思っていたのでこれが造られた森である事を見て驚き素晴らしいと思った」「都会の真ん中にこれだけの森があるのはすごいこと、とても楽しかった」「今日初めて見た木があったしゆったりしたペースで観察できてよかった」「樹木も生き物である事を実感した」「落葉樹が好きなので常緑樹が多くつまらない森だと思ったが観察会はよかった」などが参加者から語られました。

上総試験作業（野間）

上総試験地管理作業 4月・5月報告

・平成14年4月9日（火）9時～15時（於上総試験地）/参加者＝大沼、川崎、小林、菅野、遠坂、村木、山田、和田、和波、野間、計10名
 {午前} 曇り

スギ採種園の断幹。採種園の母樹は、地上3mくらいで芯が止められているが、その後萌芽した枝が多数伸び上がっている。これら伸び上がった枝を付け根から鋸で切断する。畳んだ脚立を幹に立てかけ、それを足場に枝に登って切断する。切断後は季節柄腐朽し易いであって、防腐ペースト（チューブ入り、液状のもの）を切り口に塗布する（塗布後雨で流され効果は疑問）。断幹は毎年行えば萌芽シュートがまだ細い内に切ることができ楽であるが、数年放置されていたようで、根元直径10cm、長さ3m以上の枝もかなり切った。

{午後} 雨

1) 昨年6月に挿し木したサンプスギ25本、北三原3号25本、計50本の内、まあまあの発根状態のもの35本を別の苗畑に植え替える（床替え）。

2) 昨年9月に取り木したケヤキ20～30本を切り離し、発根状態を見る。僅かに発根した1本を除いて他は全て未発根。発根した1本のみ上記スギの床替え床に植える。このとき葉の量が根の量に見合うよう、枝を剪定すべきであったが失念。取り木の発根が悪かったのは、取り木を適期の6月から大きく遅れた9月に行い、4月に切り離したことによると思われる。9月の取り木ではすぐ休眠期に入るので発根できず、休眠から覚めたばかりの4月に切り離したので

は発根する時間的余裕がない。

3) 2月、3月に伐採した和華松の跡にマツザイチウ抵抗性アカマツの次代検定試植林を設けるための次代苗植栽位置を決め、竹杭を立てる。1.8m間隔の正方形植えて12列×24列＝288本。九州・四国等各地から集めた抵抗性アカマツの母樹林が県内にあり、それらから作られた苗木288本を後日ランダムに単木混植する。その準備として苗木1本1本にガムテープにクローン名を書いて貼り、植栽予定地南隣のコナラ試験林の樹下に溝を掘って仮伏せ（仮植）する。日を置かず植栽する予定なので、小束のまま仮植。次代検定では、母樹毎の立地条件の偏りをできるだけ排除するため、母樹別列植えの繰り返しがよく行われるが（当試験地スギ次代検定林はこれ、3回繰り返し）ここでは、面積が小さいこともあり、単木ランダム混植とするとのこと。ランダム性確保には乱数表等は特に使わない。和華松の伐採跡で多分ネズミを飲み込んだと思われるお腹の膨らんだアオダイショウを見る。

・平成14年5月14日（火）9時30分～15時30分（於上総試験地）/参加者＝小林、坂本、高橋、和波、野間、計5名
 作業内容

午前＝今年4月に植栽されたマツザイチウ抵抗性アカマツの次代検定試植林の下刈り。大鎌2丁、中鎌1丁、刈り払い機2台（内1台は坂本さんが持参）使用。刈り払い機の威力は絶大で、早目に終り、道路脇の草も刈る。午後＝今年2月・3月作業で用済み和華松を伐採し、焼却穴の周りに運んで片づけたが、大量であり、燃え移ると危険なため、これらを焼却穴から遠ざける作業を行う。その後、今年2月に接ぎ木されたマツの苗畑で、台木の新芽を摘む。（同化養分を台木の新芽にまわさず、接ぎ穂の新芽にまわすため）昼休みに遠藤さんを交え打ち合わせたこと。当試験地には、ダイオウショウ、マルバチシャノキ、ペカン、セイヨウシャクナゲ、スホウチク（バンブー）などが植栽されているが、他にもいろいろな植物がありそうなので、森林研究センターの了承が得られれば、これらを我々作業班で調査し、台帳、位置図を作成し、名札を付けるという話がまとまった。こ

のための活動日を、第 2 火曜日の作業日とは別に月 1 回定例化することになりましたので、上総試験地作業班各位のご都合のよい曜日をメールして下さい。

もりこん・その他事業（寺嶋）

- ・ 4 月～5 月の活動報告
- ・ 子ども樹木博士準備（8 月 8 日開催）
- ・ 全国会研修準備（山形県月山 10 月 19 日～20 日）
- ・ 救急法研修準備（6 月 14 日開催）
- ・ 宮城県鳴子で西口親雄氏と関東・東北の森林インストラクター等 16 名と交流企画実施（5 月 11 日～13 日）
- ・ もりこん 23、24 開催（市川公民館）
- ・ 子ども樹木博士現地検討（5 月 28 日）
- ・ 4 月から個人的に四街道市南波佐間で炭焼など面積 5 ha の森林作業開始（興味のある方はご連絡ください）



四月二十日（土）、二十一日（日）に、東大演習林ボランティアに二名が参加しました。

今 後 の 予 定

【野外講座】

- ・ 7 月 17 日（水）18 日（木）：志賀高原
チーフインストラクター：湯本・菅野

【昼講座】

- 6 月 12 日午前「里山・水辺の植物」
講師：山田寛治、於：千葉県青少年女性会館
- 6 月 12 日午後 昼の講座後期の計画会議
- 6 月 26 日「21 世紀の森を訪ねる」
講師：山田寛治
- 7 月 10 日 午前「日本の森林 part 3」
講師：町原 亨、於：千葉県青少年女性会館

【上総試験地作業】

上総試験地管理作業は毎月 1 回原則として第 2 火曜日

上総試験地内樹木調査・樹木名札付けを 6 月から毎月 1 回行う予定。

【もりこん・その他】

- ・ 野外講座（笠森）の下見（6 月 1 日 9:30 笠森観音駐車場詳細寺嶋・大沼まで）
- ・ 救急法研修会開催（6 月 14 日）
- ・ 第 2 回子ども樹木博士現地検討（未定）
- ・ 全国会理事会（6 月 28 日）
- ・ 子ども樹木博士開催（8 月 8 日）

各講座の連絡や下見の日程などは、メーリングリストで随時流されます。参加希望者はご確認のうえ担当者までご連絡ください。

☆☆☆事務局連絡☆☆☆

メーリングリスト加入のご案内

メーリングリストへの加入は済んでいますか？事務合理化、連絡迅速化のため、加入よろしくをお願いします。

【加入方法】

千葉県森林インストラクター会のメーリングリストに参加希望する方は Forest-I-Chiba-subscribe@egroups.co.jp にメール願います。

FreeML から確認のメールが入りましたら、返信し、手続きは完了します。

Forest-I-Chiba@egroups.co.jp のアドレスが案内されますのでこのアドレスに連絡したいメールを送信すると加入者全員に配信されます。

なるべく多くの会員に参加をお願いし、情報の円滑、迅速化を図りたいと思います。
経費は無料です。

千葉県森林インストラクター会会報
2002 年 6 月 1 日 発行第 1 号
年 4 回発行予定（6 月・9 月・12 月・3 月）
発行人：町原 亨
編集スタッフ：秋山 進、鳥海 翔
連絡先（町原）：船橋市夏見台 4-19-1-406
TEL&FAX：047-439-3016 〒273-0866
E メール：machihara@mx5.ttcn.ne.jp